

第5学年 道徳科 学習指導案

日時 令和2年10月21日(水) 第5校時
対象 第5学年3組 29名
学校名 立川市立上砂川小学校
授業者

これからの社会を生き抜く資質・能力の育成 ～言語能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの推進～

1. 主題名 「広い心で」 内容項目 相互理解、寛容

2. 教材名 「名医、順庵」(「新しい道徳5年」東京書籍)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について(価値観)

人間は全てに対して完璧にできるわけではない。誰でも過ちや失敗をすることはある。人間とはそういった弱さがあるということを理解することで相手の立たされた状況や思いに共感し寛容な態度をとることができる。また、自分に対して謙虚であるからこそ、他者に対して寛容になることができる。そして、寛容さと謙虚さが一つになったとき、広い心で相手を受け入れ、より温かな人間関係を築くことができる。

児童には、集団生活の中でよりよい生活をしていくためには、他者の過ちを一方的に非難したり責めたりするのではなく、その相手の立場に思いを馳せることの大切さを考えさせたい。

広い心で接していく中で、お互いにとって温かい人間関係が構築されることに気付かせ、相手に対して寛容な心で接していこうという態度を育てていきたい。

(2) 児童の実態について(児童観)

本学級の児童は、男女ともに仲が良く、休み時間になると、鬼遊びやボール遊びで一緒に遊んでいることも多く見られる。

一方で、遊びのルールについてもめることが時折あり、友達に対して強い口調で「お前なんかもう入れない。」「ふざけんなよ。」などと言う場面も見られる。また、友達の行動が自分の利害に関わると、簡単には許せないこともある。

そこで、今回の授業では、登場人物の気持ちを考えさせることで、相手の立場に立って物事を考えることの大切さや、人に対して寛容であることのよさに気付かせたい。

(3) 教材について(教材観)

順庵が、弟子の一人である孝吉の過ちを一方的に叱責するのではなく、孝吉の心の内を静かに聞き、遠く離れた病床の母への思いを知ることで高麗人参を盗もうとした過ちを許すという話である。順庵の人柄の素晴らしさは、孝吉の心の内を彼の立場に立って聞き、許しているところや、孝吉の悩みに気付いてやれなかったことを反省しているところから感じることができる。寛容な態度で弟子に接する順庵の姿から、謙虚で広い心を持って相手を認めることのよさを感じ取れるようにしたい。

4. 本時の授業

(1) 本時のねらい

順庵と孝吉の関わりの中での順庵の思いを考えることを通して、互いに認め合うために相手の立場や気持ちを受け入れ、広い心で人と接しようとする心情を育てる。

(2) 学習指導課程

	学習活動（○発問◎中心発問・予想される反応）	◇指導上の留意点
導入 (5分)	1. アンケートの内容を読み上げ、これまでに身近な人から寛容に受けとめてもらったり受けとめてもらえなかったりした経験について想起する。	◇これまでの経験を共有し、本時の価値へ方向付ける。
展開前段 (20分)	2. 「名医、順庵」の教材を通して相互理解、寛容について考える。 ○順庵に声を掛けられたときに、本当のことを言えなかった孝吉は、どのようなことを考えていたでしょう。 ・勉強を投げ出して家に帰ったら弟子をやめさせられるかもしれない。 ・師匠である順庵に言ったら怒られるかもしれない。 ○孝吉を自分の部屋に連れて行くとき、順庵は孝吉のことをどう思っていたのでしょうか。 ・何か理由があるのかもしれない。 ・なぜ、私を裏切るような行為をしたのだ。 ◎なぜ、順庵は孝吉を許すことができたのだろう。 ・元気がないのに気付いていながら、ちゃんと話を聞いてあげなかった自分にも責任がある。 ・もし私が孝吉の立場だったら、すぐにでも看病に行きたいと思うのは当然だ。早く帰してやりたい。 ・盗みは絶対にしてはいけないことだが、孝吉の気持ちも分かる。母のためにやったことなので、許してやろう。 ・悩んでいたのなら言ってほしかった。	◇教材を範読する前に、順庵の人柄や物語の概要をおさえる。 ◇順庵と孝吉との関係性をおさえる。 ※話し合いはすべて相互指名で行う。 ◇部屋へ行く途中の順庵の気持ちが想像できるように、叙述に合わせて動作化を入れる。 ◇孝吉の心の内を推し量りながら、冷静に話を聞こうとする順庵の行動のよさを捉えるようにする。 ◇孝吉の苦悩に寄り添って最善の対処を考える順庵の心の内をじっくりと考えるようにする。 ◇寛容な気持ちになれない児童の考えも、多面的・多角的な意見として受け止める。
展開後段 (15分)	3. 振り返りをする。 ○学習を振り返って、人の過ちや失敗についてどんなことを考えましたか。	◇本時の学習を通して、振り返りができるようにする。
終末	4. 教師の説話を聞く。	

5. 本時の評価

- ・広い心で相手の立場や気持ちを受け入れることが、人間関係において大切だと気付いたか。（ワークシート）

6. 授業観察の視点

- ・自分や友達の感じ方や考え方を交えながら話し合いをし、協働的に議論できているか。